

# I 令和元年度 事業報告

社会福祉法人会津療育会の理念、施設運営の指針、令和元年度短期事業計画に基づき、取り組むべき目標を実現すべく、アガッセ事業推進委員会を中心に各委員会、係、各部署が一体となり、事業を推進してまいりました。

令和元年度は、全国的に台風による甚大な水害被害が多くみられましたが、幸いながら会津地域においては、ほとんど被害がない状況でした。しかしながら、施設は浸水地域でもあり水害を想定した避難訓練を実施し今後もさらに対応を検討していく必要があると考えています。

在宅支援でもある短期入所事業においては、利用中の救急搬送もみられ、ご家族からの情報提供をこれまで以上に必要としており、より信頼関係を保つよう十分なコミュニケーションの必要性を感じています。

施設入所支援事業においては、長期入院になる方も多くおられた年でした。重症度の高い方の支援としてより医療機関との連携強化をすすめ、健康保持を推進する必要性が高まっていると思われます。日頃の日中活動、行事としての展示会やアガッセ祭などは定着し実施継続しておりますが、さらに地域の方向けにもアガッセ祭に合わせ、外部団体の実施するマルシェを同時開催をし、大いに盛り上がりを見せてくれました。

## 1. 法人組織の安定した運営

人事考課制度の具体的なかつ円滑な実施を行い、定着を図ってまいりました。また、職員の処遇改善を進めるとともに、パワハラ・セクハラの防止に関する規程を設け、研修会の開催、アンケート調査とを行い、職場環境の改善に努めてまいりました。さらに新規職員募集、就職フェアへの参加など行いながら、人員確保に努めてまいりました。施設内の事故発生を未然に防ぐよう危機管理を進め、様々な場面での注意喚起を行ってまいりました。

## 2. 在宅支援サービス事業の強化

通所生活介護事業、短期入所事業については、家族懇談会を通して要望やご意見をうかがい信頼関係を深めることができたとともに、通所生活介護では利用者主催行事の企画などを通して、主体的な活動の提供を進めてまいりました。また、利用者の拡大に向け、地域ニーズ、社会資源などの情報収集を進め、受け入れ態勢の検討を行ってきました。いずれの事業においても利用率の向上を今後も進めて行く必要があると思います。

相談支援事業については、基幹相談支援センターとして事例検討会を定期的に行い、相談支援専門員や障害福祉従事者の支援技術の向上を図ってきました。また、計画相談事業についてはモニタリング頻度の把握と年間の実施計画を立て、実施状況を随時確認しながら進めるよう努めてまいりましたが、ケースの引継ぎや他事業所への移管等もあり、効率的な推進には至りませんでした。

## 3. 入所者の生活圏の拡大と生活の質の向上

宿泊を伴う個別ケア外出を実施し、マニュアルの見直し作業を進めました。また、家族懇談会でご家族の要望をうかがったり、利用者アンケートの結果をもとに、行事などの内容を計画したり、日々の個別的な支援に生かすように努めてまいりました。

## 4. 地域貢献と広報活動の強化

作品展示会については他の3事業所の出展協力を頂き、利用者の皆さんの社会参加の一端となるよう企画開催いたしました。これまでで最も多くの来場者を迎えたことで、障がい者福祉についての啓発活動にもつながったと思います。

地域貢献事業については、関係法人とともに公益事業の推進検討について連携して協議を進め、共同で職員研修会を開催しました。法人としては地域住民を対象としたヨガ教室を開催しました。また、地域の小学校の廃品回収への協力を行うなど、地域との連携も進めてまいりました。